

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)		
ナンバリングコード	E21202	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	必修 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E002584	クラス名	林ゼミ
担当教員名	林 孝和		
履修上の注意、履修条件	ゼミは発表・討論を通じて学ぶ場であり、自分の考えていることを相手に正確に伝えることを意識的に行っていきます。そのためにも問題を明確化するとともに、積極的な参加を期待します。		
教科書	必要に応じ、プリントを配布します		
参考文献及び指定図書	その都度紹介します。		
関連科目	社会福祉原論, 高齢者福祉論, 障害者福祉論, 児童福祉論, 地域福祉論, 社会保障論など		

○基本情報	
授業の目的	(ゼミナールⅡA・ⅡB共通) 本講義では、PBL(Problem/Project Based Learning)を活用し、地域社会に起きている課題についてグループで「目標設定」→情報収集→課題整理→解決策立案→報告(発表)→振り返りを1サイクルとしてグループ活動を行います。 また、こども・福祉マネジメントコースが養成する人材像のうち、『子ども』『高齢者』『障がい者』、そして『ビジネス』など様々な視点から、つながりのある地域社会の実現に貢献できる人材に焦点をあて、地域社会が抱えている課題について、自ら調べ、考え、そしてチームで解決策を考える(社会人基礎力:「チームで働く力」、「前に踏み出す力」)修得を目指します。
授業の概要	ゼミナールⅡでは、様々な地域課題について、その解決策についてグループで検討し、発表を行い、社会人基礎力の修得を目指します。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」 (2)複数担当の場合の方式 「該当しない」 (3)アクティブ・ラーニング 「PBL(課題解決型学習)」
地域志向科目	カテゴリーⅢ:地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
実務経験のある教員による授業科目	該当なし

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	・地域社会で起きている課題について関心を示すことができる ・チームで課題解決に向けて取組む姿勢を示すことができる		30点	
【知識・理解】	・PBLの課程について理解できている ・課題解決の方策について理解できている		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	・自分自身で調べた、考えた事項について他のメンバーに伝えることができる ・チーム活動の成果について適切にプレゼンテーションすることができる		15点	15点
【思考・判断・創造】	・他のメンバーの考え、意見を理解し、自らの立場に基づいた意見を述べるができる。		30点	

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)
講義でのレポート、講義への参加状況および発表をもとに総合的に判断します。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他
・講義内容の質問等については、講義終了後またはメール等を活用してください。

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 林 孝和	授業コード	E002584
<b>学修内容</b>				
<b>1. オリエンテーション</b> 本講義の目的および内容等について説明します。また、履修状況の確認を行う				
予習	講義の目的等についてシラバスを確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>2. アイスブレイキング</b> アイスブレイキングについて理解する				
予習	:アイスブレイキングの意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>3. アイスブレイキング</b> アイスブレイキングについて実際に考える				
予習	アイスブレイキングの対象となる人について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>4. PBL(Pblblem Based Larning)①-1</b> PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する				
予習	PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>5. PBL①-2</b> 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する				
予習	課題についての情報収集を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>6. PBL①-3</b> 第5週目の情報収集・課題整理をもとに、課題解決に向けた方策について考える				
予習	グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>7. PBL①-4</b> 第4週から第6週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出				
予習	発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>8. PBL①-5</b> 第7週で各グループから選出された代表チームによる発表会				
予習	前回の発表会の振り返りを行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB) 林 孝和	授業コード	E002584
<b>学修内容</b>				
<b>9. PBL①振り返り</b> PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う				
予習	チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>10. PBL②-1</b> PBLを実施するにあたってのグループ分け、課題の説明を行い、現時点でのチーム内での情報、課題についての認識を共有する				
予習	PBL意義・目的について調べる			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>11. PBL②-2</b> 設定課題について、チームで分担し情報収集を行い、課題を共有する				
予習	課題についての情報収集を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>12. PBL②-3</b> 第11週目の情報収集・課題整理をもとに、課題解決に向けた方策について考える				
予習	グループで出された課題を見直すとともに、解決策について考える			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>13. PBL②-4</b> 第10週から第12週で調べ、まとめた内容についてグループ発表を行う。 ※5グループに分け発表会を行う。その中で代表を2チーム選出				
予習	発表の担当部分について原稿作成等発表準備を行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>14. PBL②-5</b> 第13週で各グループから選出された代表チームによる発表会				
予習	前回の発表会の振り返りを行う			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>15. PBL②振り返り</b> PBL①でのチーム目標の達成度、チーム内での役割などについて振り返りを行う				
予習	チーム目標、チーム内での役割について確認する			約2時間
復習	配布資料、板書等をもとに要点をまとめる			約2時間
<b>16.</b>				
予習				
復習				